

# 財務状況の全般的説明

## 1. 令和2年度の財務状況

高野山学園における令和2年度の財務状況において、大学の学科新設および高等学校の寄宿舎立替に伴い寄付金収入が前年より5億3,259万円、補助金収入が前年より9,835万円増加したため学園全体の事業活動収支差額は1億7,573万円の収益超過となった。ただし本学の課題であった学生・生徒数確保については、大学部門・高等学校部門ともに減少したため、学生生徒等納付金収入は前年度と比べ2,222万円減少している。

大学では令和3年度に教育学科を開設することとなっており、また高等学校は国際バカロレアコースの開設に向けて取り組んでいる。現状の学生満足度を高める取り組みとともに引き続き学生・生徒確保に取り組んでいきたい。

学園の各種特定資産については、仕組債等での運用を行ってきた勸学基金特定資産において2商品が早期償還を迎えた。今後も低金利が続くと予想されることから、新たな運用商品の選定についても元本毀損リスクの低いものから取り組む予定である。

### (1) 資金収支計算書

#### ①資金収支計算書の概要

##### 資金収支計算書について

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に関するすべての収支の内容、および支払資金の顛末を明示する計算書類である。

#### ②令和2年度の財務状況

##### ■高等学校寄宿舎建て替えに伴う収入・支出増

高等学校の寄宿舎建て替え事業では、令和2年度に新寄宿舎が完成、翌年度に取壊しとなった。これに伴い今期は4億1,619万円の施設関係支出、並びに2,322万円の設備関係支出を計上した。なおこの事業にともない寄付金収入・補助金収入がそれぞれ増額となった。

##### ■新型コロナウイルス感染症拡大の影響と対策

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、大学では休学中の学生や来日できていない留学生の授業料等学費の免除、通信環境整備のための助成金支給により奨学費支出が増大、連続講座の開講見送りや施設利用の減少による減収があった。なお同ウイルスの対策として教室等の消毒作業のための消耗品購入が発生しており、また遠隔授業のための設

備整備により 476 万円の設備関係支出が発生している。この設備関係および関連支出に対して補助金を申請、令和 3 年度に支給される見込みである。

#### ■大学文学部教育学科の開設決定に伴う収入・支出増

かねてより準備を進めていた大学の文学部教育学科の開設について認可が下りたことにより、法人本部での管理経費が 2,395 万円増加、また施設設備整備のため建設仮勘定 2,836 万円を計上することとなった。また学科開設の準備や祝い金などにより寄付金収入が増額となった。

#### ■退職金および退職金財団交付金の増額

退職者が 12 名となり、それに伴い退職金を 9,355 万円、退職金財団交付金を 8,422 万円（うち私大財団 6,722 万円、県財団 1,700 万円）計上することとなった。

## (2) 事業活動収支計算書

### ①事業活動収支計算書の概要

#### ■事業活動収支計算書について

事業活動収支計算書は、当該会計年度における事業活動収入と事業活動支出を対比し、収支の均衡状態と内容を明確にする、企業会計における損益計算書に当たるものである。その意味では、単年度の収支（赤字/黒字）をうかがう上での指標となる計算書である。

### ②令和 2 年度の財務状況

#### ■事業活動収支の動向

令和 2 年度決算では、前年度決算と比して事業活動収入は 6 億 5,836 万円の増加、一方事業活動支出は 2 億 2,636 万円の増加となっている。いずれも (1) -②に記載の通りであるが、事業活動収支計算書では資産の処分および減価償却も加味されるため、高等学校寄宿舎建て替え事業の既存建物の取壊しによる処分差額が特別支出として計上されている。校舎・宿舍の老朽化への対応のみならず新型コロナウイルス感染症を機に施設・設備の整備の必要性が高まっているため、改修計画や資金計画の策定・実施が望まれる。

## (3) 活動区分資金収支計算書

#### ■活動区分資金収支計算書について

活動区分資金収支計算書は、企業会計でいえば損益計算書にあたる。資金収支計算書の決算額を三つの活動区分（教育活動／施設整備など活動／その他の活動）に分けて表して

おり、活動毎の資金の流れを明らかにするものである。

## (4) 貸借対照表

### ① 貸借対照表の概要

#### ■ 貸借対照表について

貸借対照表は、年度末の財政状態を、資産・負債・正味財産（基本金、繰越収支差額）で表す。貸借対照表では、当年度末と前年度末での資産等の変動を対比している。

### ② 令和2年度の財務状況

#### ■ 資産の増加

令和2年度末では、流動資産が7億9,765万円となり2億2,034万円増加している。このうち現預金は1億1,008万円の減少、未収入金は3億2,890万円増加しているが、主に退職金支払、高校寄宿舍建設のための経費支払による現預金の減少、寄付の申し出による未収入金の計上、退職者増による退職金財団交付金増額分の未収入金計上によるものである。

#### ■ 負債の増加

令和2年度末では固定負債が2,499万円減少、流動負債が6,298万円増加している。流動負債のうち未払金は3,455万円増加しているが、これは大学教育学科開設準備経費が発生したためである。なお預り金3,090万円の増加は、退職金の天引き経費（源泉所得税・住民税等）や共済貸付金の一括返済金の発生、高校寄宿舍預り金・就学支援金の増加によるものである。